



# 農大だより

U R L <http://www.pref.kagawa.jp/nodai/>

第 13 号  
 香川県立農業大学校  
 〒766-0004  
 仲多度郡琴平町榎井34-3  
 TEL 0877-75-1141  
 FAX 0877-75-3989  
 E-mail : nodai@mx8.tiki.ne.jp

- 専攻実習の取り組み
- 活躍する卒業生・研修生
- 校外講師の授業風景
- 農業経営力養成講座に参加して
- 同窓会だより
- 農大ふれあい市

## 専攻実習の取り組み

### 卒論への取り組み

野菜園芸コース 鎌田 将司

私は学校内ほ場で畝立てや定植、収穫、病害虫防除など野菜の栽培作業の実習を行っています。



夏からは本格的に卒業論文の調査が始まりました。私が取り組んでいる課題は「ブロッコリーの定植遅延が生育に及ぼす影響と対策としての早期畝立て」です。ブロッコリーは近年面積が拡大しつつある香川県の主要品目の一つですが、盛んに定植

される八月下旬から十月上旬は台風や秋雨により耕耘畝立てが予定通りに行えず、定植作業に遅れを生じることがあります。そこで、天候に影響されず定植作業を予定通り行う方法として早期に畝立てを行うことに着目しました。

試験は定植一ヶ月前に畝立てを行い、定植直前に畝の上面のみに施肥後、車軸型ロータリーで耕耘して定植します。現在は定植を終えた状態で、これからデータを取りながら収量調査まで大切に管理し、より良い卒業論文を完成させたいと思います。

### 専攻実習に取り組んで

花き園芸コース 大西 健太

私が専攻実習でお世話になっている農家は、レタスとキクの複合経営を行っています。

半年あまりが過ぎて感じたことは、今まで高校や農大、実家でやってきた作業方法と専攻先農家でのやり方には違う部分があり、その場所に応じた作業方法等で行う必要があることです。

また、私は家がキク農家ということもあり、高校、農大と花きを専攻してきて、大体の作業は慣れていますが、レタスの作業は初めて経験することが多く、新鮮な気持ちで取り組んでいます。

専攻実習の中では、卒業論文の課題「夏秋ギクの栽植密度の検討」にも取り組んでおり、高校の課題研究とは違い、農家は場を使用して行うので、いろいろな勉強になる点も多く、実習での作業経験や人間関係は将来の自営に向けて役に立つものと思います。



### キウイバードでの専攻実習

果樹園芸コース 木下 弘之

一年生の農家実習で(有)キウイバードコーポレーションでお世話になったとき、社長の島田さんの農業に対する考え方や取り組み、そして私の地元である善通寺市で行っているということから、キウイに関心を持ち、二年生の専攻実習も同社でお世話になっています。





実習内容は、キウイフルーツに関することで、県外からの研修生やパートの方々と一緒に作業をしています。皆さん、将来や生活がかかっているので作業は真剣です。私は足を引っ張らないようにするのが精一杯です。しかし休憩中は、笑い話の中にも社長のキウイや農業に関する話で勉強になることばかりです。このような環境で学べる私はとても恵まれていて感じます。受け入れてくださったキウイバードの方々、手配してくださった先生方に感謝しつつ農業を学び、キウイ農家を目指します。



### 普通寺ガーデンコンテスト「金賞」

造園緑化コース 森本 雅志

昨年に引き続き普通寺のガーデンコンテストに参加しました。今回のテーマは「威風堂々」で、大自然の態様や雰囲気や生命に満ち溢れて立派な様子をイメージし、石組みの滝、神様が通る朱色の太鼓橋、それから石積みみの腰掛けで構成しました。



作庭は大変大がかりなものになり、自分一人ではとてもできないので、造園会社の方や先生方からご指導をいただきながら、また、一緒にアイデアを出し合った仲間たちのおかげで完成させることができ、審査の結果は思いもかけず「金賞」とな

りました。

このことは、いろいろな皆様方にお世話になったおかげと、自分の力を信じて頑張ればちゃんと見返りがくるということが真実だと思わせてくれました。

今後は、賞をいただいたという自覚を持って造園にもっと深く取り組み、夢を一つずつ叶えていきたいと思えます。

最後に、農大は造園の実習場所もたくさんあり造園を勉強する環境に恵まれ、たまに無理なわがままも聞いてくれるとてもやりがいのある所です。今後、造園緑化コースにも造園に興味を持つ学生が増えて欲しいと思います。

### 卒論に向けて

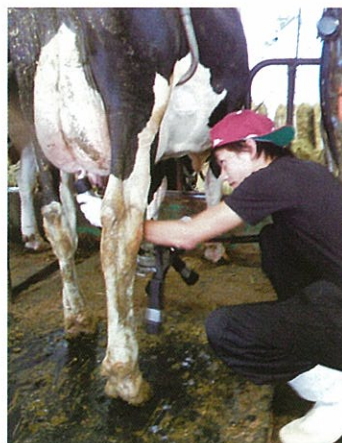
畜産コース 中川 聖也

私達三名は、三木町の畜産試験場で乳用牛、肉用牛、豚に分かれて専攻実習をしています。私の担当は乳用牛で、実習は主に朝夕の搾乳、餌やり、牛糞出しをしています。そして月一回、牛体測定(体長、胸囲、体重)を行っています。

専攻実習では、一日中専攻した動物と触れ合い、将来的にいろいろ勉強になります。また、牛の出産の立会、超音波診断装置による妊娠鑑定などいろいろな経験ができます。今

年は、三名とも家畜人工授精師の資格を取ることができ、今後、牛の繁殖向上に貢献して行きたいと思っています。

あと卒業まで半年ですが、卒論のテーマである乳用牛のゴーヤ給与試験、肉用子牛の早期離乳試験、肥育豚のトマト給与試験に一生懸命取り組んでいきます。



### 活躍する卒業生・研修生

原成一さん(野菜園芸コース卒)

中尾食品グループの関連会社、(有)まるいちファームに勤務されている原成一さんを紹介します。原さんは、農大を卒業後、アメリカワシントン州のレタス栽培農家で二年間研修を経験しました。

帰国後、大学時代時代の担任の紹介



で就職した職場は坂出府中町にある水耕栽培施設です。八月の定植後、十月～七月にかけてフルーツトマト「ルネッサンス」を栽培している農場では、栽培管理から集出荷まで農業部門全般を任されています。



学生時代に参加した全国プロジェクト発表会や八ヶ岳の交換大会での交流を通じて得られた人とのつながり、農大から派米研修へと野菜の専門部門を続けてきた経験が、現在の仕事に生かされていることを実感しているそうです。

企業の農業分野への参入に伴い、選択した現在の仕事ですが、日々、お客様からいただく声を大切に品質重視の栽培に努め、将来は、より高付加価値で販売できる作物を選定したいと抱負を語ってくれました。

### 上北 正人さん (研修科修了生)

高松市庵治町で精力的に農業に取り組み始めた上北正人さんを紹介します。

上北さんは平成二四年度の研修科修了生です。野菜コースで一年間研修を受けられました。

七年前からトマト栽培を始めた母親の農業を継ぎたいと、三十歳を期に脱サラし、農業大学校での研修を決意されました。明るく、前向きな人柄の上北さんは、研修生の中でもリーダー的存在でした。研修に参加するまでは不安もあったようですが、農大で学んだ技術と知識に加え、幅広い年齢層の研修生仲間からもパワーをもらい、二五年の四月に後継者として就農しました。



現在、トマトは施設でメディアサイズのものを生産しています。栽培面積は一七アールですが、今年度中にはビニールハウスを二棟建てて規模拡大し、採算ベースにのせて行きたいと意欲的です。

自分が作ったトマトの魅力を伝えるため、飲食店や百貨店、スーパーにも足を運んで積極的に営業活動を行っていますので、今後、上北農園のトマトを、スーパーやパン屋さん、飲食店で見える機会が増えるかもしれません。

明るく、意欲的な上北さんの益々のご活躍をお祈りいたします。



### 校外講師の授業風景

#### スタジオとみっぺ

太田 美緒先生

一年生の一般教養科目「情報処理Ⅰ」の授業を担当させていただいている、太田美緒です。

私の授業では、ビジネス文書や請求書など、仕事で使われるような書類の作成を中心に、ワード、エクセル、パワー・ポイントの演習を行っています。

最近ではインターネットやスマートフォンへの普及により、一見パソコンに慣れている学生が増えていますが、将来欠かせないオフィス系ソフトは「中学・高校の授業でやった」というだけで、なかなか使いこなせていないと感じます。

農大では、二年生になるとパワー・ポイントによる研究発表があります。また、農業分野においても、分析や情報収集などの目的でパソコンの活用が増えていくと聞きます。どのようなソフトや機能がよいか、どのような方法がより効率的か、といったことを自ら考え活用するとても良い機会です。



学生の皆さんには、在学中も卒業後も、ぜひこの授業を思い出し役立ててほしいと思っています。



# 農業経営力養成講座 に参加して

野菜園芸コース2年

山下 侑紀  
吉田 和宏

八月に開催されたアグリフューチャージャパン主催の農業経営力養成講座に参加しました。

セミナーでは全国で活躍する若手農業者の実践経験を聴くとともに、自らの経営ビジョンを整理し具体化することに取り組みました。



講師は、日本農業経営大学校をはじめ、明治大学教授、地域ブランド農産物の生産・加工・販売を手がける企業の代表、全国農業青年クラブ協前会長、有機農業実践者など、日本各地で活躍する農業者の事例を直接聞くことができました。中でも生活情報誌オレンジページ代表の話は、販売を拡大するなかで読者ニーズにあわせてクレーム対応を丁寧にしてきたこと、顧客の信用を積み重ねてきたという話がとて興味深く印象に残っています。

グループ討議で全国各地から参加した生産者の意見に触れ、また、先進農業経営体の現地視察もでき、充実した研修の機会をいただいたと思っております。

## 同窓会だより

(有)広野牧場

代表取締役 広野 正則氏



私は夢という言葉が好きです。夢があるからやりたいと思うことがあり、自分でできることで楽しい人生が送れると思っています。今、若い人達にとって夢を持ちにくい時代になったと言われていますが、みんなが夢をもたないことを逆にチャンスととらえ自らが考え行動することが大切です。

失敗は必ず起きます。その時どう対応するのが重要で、失敗の解決を積み重ね、その中から最善の方法を考え選択していくことが自信になり、将来この経験の中から自分のやりたい仕事につながっていくことと思います。そして自分のやりたい仕事が見つかれば、辛くても気にならないし頑張れます。

今、自分の出来ることを一生懸命する、一生懸命していれば自分の周りに協力し応援してくれる人達も増え、自分のやりたいことができるようになります。

若い人達の自由な新しい発想で今の農業のイメージを変え、自分の将来の農業の姿を見つけ、自分のものにしてほしいと思います。

## 農大ふれあい市

本校の学生自治会が、恒例の「農

大ふれあい市」を次のとおり開催します。

本年も学生が頑張って趣向を凝らした企画を用意しますので、皆様お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

### 開催日時

十一月九日(土)  
午前十時三十分～午後二時

### 内容(予定)

- 野菜、果物、もち米販売
- 苗物、鉢物、堆肥等販売
- 模擬店(焼そば、焼き鳥、餅、菓子など)

### オープンキャンパス

来年度、入学を希望される方や保護者の方で校内見学を希望される方は受付までお越しください。

### お願い

本校の駐車場は数に限りがございます。できる限り公共交通機関をご利用ください。

